



レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール（G-Benda療法／サイクル2～）

1サイクルを4週間毎に繰り返します。

時間	薬品名	用量	/	/	/	/
30分	グラニセトロン バッグ デキサメタゾン (吐き気・注射時反応予防)	3 19.8 mg/袋 mg	○			
30分	グラニセトロン バッグ (吐き気予防)	3 mg/袋		○		
10分	ベンダムスチン	<i>[90mg/m²]</i> mg	○	○		
1時間 30分	ガザイバ	1000 mg	○			
内服	イメンド カプセル (吐き気予防)	125 mg	✓			
		80 mg		✓	✓	✓

ガザイバ開始 30～60分前に内服	 ロキソプロフェン (解熱鎮痛剤)	 エピナスチン (抗アレルギー剤)
----------------------	---	--

※ガザイバ

注射時反応を予防するために、点滴はゆっくり投与し始めます。
特に症状がなければ、30分後に点滴速度を上げます。

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※特に点滴のある日は、無理のない程度に水分の摂取を心掛けてください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

☆副作用について

- 腫瘍崩壊症候群（当日～）**
 急激な細胞の崩壊により腎障害などをきたすことがあります。
- 血管痛（ベンダムスチン点滴中）**
 温めると和らぐことがありますので、症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
- 注射時反応（ガザイバ点滴中）**
 投与開始時や点滴速度を速めると、**発熱、悪寒、頭痛、咳、喉の違和感、痒み、発疹、虚脱感**などが発現することがあります。多くの場合、点滴速度を遅くすることで軽快します。予防のためにデキサメタゾンの投与、点滴開始30～60分前にロキソプロフェンとエピナスチンの内服を行います。
- 吐き気（当日～）**
- 味覚異常、臭覚過敏（当日～）**
- 便秘（当日～）**
- 発熱、皮疹（当日～）**
 38℃以上の発熱時や全身に広がる皮疹が出現した場合は受診してください。
- 口内炎（1～2週間ごろ）**
 普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- 下痢**
 腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- 骨髄抑制（3～4週間）**
 白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
 →白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。
 →赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。
 赤血球・血小板減少時は輸血が必要になることもあります。